



2017-2018年度 国際ロータリーのテーマ

ロータリー:変化をもたらす

ROTARY: MAKING A DIFFERENCE

撮影: 齋藤浩一郎 会員



倉敷南ロータリークラブ

国際ロータリー第2690地区第7グループ 創立Jul.7.1961
〒712-8001 倉敷市連島町西之浦4141ヘルスピア倉敷

第 2739 例会 R.Song 「四つのテスト」 天候: 晴れ No..2739/2017.12.15

Guest なし

Visitor 第 7 グループガバナー補佐 大久保様、IM 実行委員長 鴨井様、
坂本様 (倉敷 RC)

出席 会員数 64名 (うち出席規定免除者①1名②13名)

12/15の出席率 71.93% (出席者41名、内②7名)

11/30の出席率補正92.19%

欠席 安藤、浅見、江澤、藤木、萩原、樋口、川端、室園、齋藤、田原、和田、渡辺(英)、
山口、山本、横田、井上(朗)、各君 (16名)

小田副会長

・萩原会長不在の為、前回に引き続き代理を務めさせていただきます。

本日は今年最後の昼例会になり、次回は1月12日です。年末まであと16日です。

・イングランドプレミアリーグ (サッカー) のレンゲル監督 (元 名古屋グランパス監督) が、日本の大相撲を見習う (勝敗決定後、喜ばず、深々とお辞儀をする) べきだと警鐘を鳴らしています。

*第7Gガバナー補佐 大久保憲作様: 10月の地区大会は良い大会ができ、地区役員として御礼申し上げます。来年3月11日にIMがあります。テーマは『働き方改革』で東レ元役員 佐々木常夫さんが講演。世の中は変わり、家庭の平和と企業の反映の共存が重要になっており、是非皆様に会場に来ていただきたい。

*IM 実行委員長 鴨井尚志様: IM 当日、松本パストガバナーも『ポリオ撲滅』の基調講演をされます。皆様のご出席をお待ちしています。

幹事報告 (奥山幹事)

・地区ロータリー財団事務所より、次年度地区補助金申請書について。他、報告7件
社会奉仕委員会 (沼本委員長)

・倉敷市立図書館にある雑誌のスポンサー募集『雑誌スポンサー制度』があります。
是非、対象雑誌リストのスポンサーになって頂きたく前向きに検討下さい。

12月誕生日ロータリーモーメント(先週の続き)

- ・石本(信)会員：先日呼吸困難になり喘息の診断。点滴をしていただいたら一発で回復して感謝。全日本グランドシニア大会にもう一度出場すべくチャレンジしたい。
- ・森会員：満69歳(古希)になり、これから少し歩こうかなあと考えています。

スマイル(畠田S.A.A)

- ・森会員：古稀のお花と誕生日のお祝い有難うございました。
- ・高田会員：版画を教えていただいて有難うございました。何とか1枚完成できました。元気のいい犬を掘りました。
- ・若狭(宏)会員：今年も無事過ごせました。
- ・白髪会員：やっと念願のサザンのチケットが当たりました。明日楽しみです！
- ・中西会員：①11/23 倉敷南 RAC 第1回ゴルフ大会へ参加。この日は驚くほど調子が良く人生で初めてニアピンとドラコンを獲得することができました。皆さんと楽しく回れたことが一番の要因だと思います。②版画教室に親子で参加。全4回の内、2回参加でしたが、久しぶりに彫刻刀を持って作業しました。娘も彫刻刀で掘っていると、やはりお約束の指を怪我しました。「痛い、痛い」と泣きながらも、萩原会長の言っておられた「痛みを知る」事の大切さを経験できたのではないかと思います。貴重な体験、有難うございました。

プログラム 卓話 イニシエーションスピーチ 杉原 正一 会員

- ・生まれも育ちも老松町です。『老松』は八幡神社の境内にある末の古木に由来。昔はこの地域一帯は競馬場があったと父親から聞いており走馬跡がそのまま道路として残っています。
- ・中学校/高校時代は柔道部に所属しましたが、強いクラブではなく1-2回戦で敗退。
- ・大学では、優雅な品格を感じて『詩吟クラブ』に入りましたが、厳しい上下関係・鍛錬と完全に当てが外れてしまいました。住まいは、木造3階建ての35人収容の学生専用下宿(まかない付3畳一間)。住込みのおばあちゃんが、いつも明るく皆の面倒を見てくれました。
- ・信用金庫について、地域社会の共存共栄(相互扶助)を目的に1951年6月に設立されました。現在の最大の関心事は、『超低金利政策』です。日銀の総資産は500兆円(国債が大部分)を超えており、日本のGDPとほぼ同じです。落語の話の中で、お花見会場までお酒を運んで一儲けをしようと二人で酒樽を運ぶ道中、お互いにお金を払いあつては一杯飲むのを繰り返していたら、着いた時には酒は空になり、同じお金をやりとりしていただけだった⇒これと同じです。『一日も早い出口戦略が必要』というのが専門家の見解です。
- ・読書で推奨本『見残しの塔』(作者：久木綾子)を紹介。日本3銘塔の一つで、作者が70歳の時に山口市の瑠璃光寺の五重塔を見て感激し、構想14年、執筆4年、校正1年をかけて書き上げた処女作。長期に亘り徹底的に調べ尽くして80歳半ばで書き上げた作品です。

例会プログラム予定：

2017.12.20(水)「年末家族例会」18:30～ 於 倉敷アイビースクエア ・ 2018.1.12(金) 年男所感